

問

町立3校の今後をどのように考えるのか

町長

さまざまに観点から検討

妊娠・出産後の支援

町長 妊娠届などに受けられる支援は。

町長 妊娠届出時と出産後に各5万円給付、紙おむつ処理用ごみ袋助成、絵本の贈呈、子育て支援センターの託児無料券交付などの事業を行っている。

町長 ごみ袋は、小の袋では小さいとの声もある。また紙おむつ自体の

購入助成をする考えは。

町長 サイズは実態を詳しく把握し、おむつの購入助成は近隣を調査し検討したい。

子育て応援支援

町長 保育ICT「コドモン」の問題点や課題は。

町長 欠席・遅刻の連絡、お知らせ一斉配信アンケート、行事予定などの機能があり、こども園で事務の効率化

が図られている。

町長 現在大きな問題は無いが、文字のやり取りとなるため、お互いの捉え方によってうまく伝わらないことがある。

町長 小中学校でもアプリの導入の声があがっているがその考えは。

町長 今は、メールで連絡を取っているが、今後は同じ機能をもつシステムを導入する。

町長 「訓子府町子育て」とインターネットで検索すると、本町のHPに飛ぶだけで詳しい内容はすぐに出てこない。

町長 他自治体を検索してみると、その地域の支援一覧が出てくるが、本町でのHPでの今後の見せ方や周知方法は。



すべての子どもたちに手を差しのべて

高校生への支援

町長 本町のHPは構造上深掘りしないと到達しない。また、複数の課にまたがっており、一元化する方法が難しいが今後掲載の仕方など検討していきたい。

町長 こども園完全無償化により、給食費も無償になるが、小中学校の給食費無償の考えは。

町長 管内でも多くの市町村で実施しているが、今の少子化を打破するために自治体が違うから負担が違うというところのないように国や道が行うべきではと考えている。

町長 さまざまな意見を聞きながら新たな支援策を検討していく。

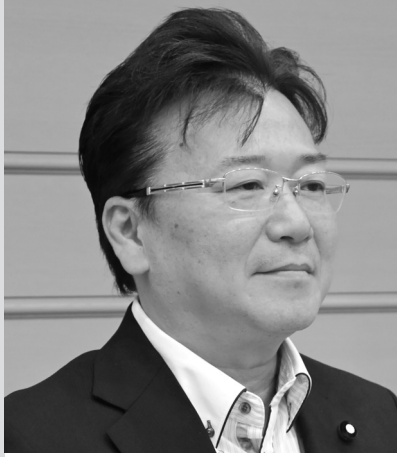
小中学校の建て替え

町長 老朽化が進む各小中学校の施設整備は。

町長 公共施設で一番古いのは訓子府小学校で最初に整備すべきと思うが、世論形成やお金の問題など6年くらいはかかると考えている。

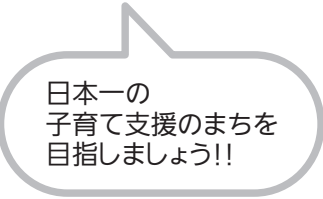
町長 小中一貫校や義務教育学校など、町内にある町立の3校をどのようにしていきたいのか。

町長 6年後は中学生で3割、小学生で4割減る。当然義務教育学校なども視野に入れ、さまざまに部分でアプローチし検討していく。



たにぐち たけひこ 議員
谷口 武彦

日本一の
子育て支援のまちを
目指しましょう!!



町長 本町のHPでの今後の見せ方や周知方法は。

町長 こども園完全無償化により、給食費も無償になるが、小中学校の給食費無償の考えは。

町長 さまざまな意見を聞きながら新たな支援策を検討していく。

町長 小中一貫校や義務教育学校など、町内にある町立の3校をどのようにしていきたいのか。

